

多様な若手ステークホルダーが
「現場の声」を政策立案に届ける

若手ネットワーク

参加無料
・
要事前申込

一般社団法人研究基盤協議会

「共創の場」

シンポジウム

技術職員の価値を最大限まで高めるコミュニケーション

技術職員コンソーシアム

TAMARIBA

日時

2025年1月24日(金) 9:00~12:30

場所

岡山大学五十周年記念館 金光ホール (現地定員 400名・先着) /Zoom

第1部 9:05~10:50 技術職員コンソーシアム TAMARIBA 企画

「ヘリウム未来革命：資源循環で築くサステナブルジャパン」

9:05 各大学活動紹介

9:35 パネルディスカッション

ヘリウムはNMR・MRIや、産業用レーザーなどの先端技術に広く使用されている希少な物質です。産業や研究基盤を支えるヘリウムリサイクルは、環境保護と資源の有効利用の観点から重要な課題です。本企画ではヘリウムリサイクルに取り組む企業や大学をお招きし、ステークホルダーが連携してこの問題解決のスキームを構築するきっかけを議論します。

第2部 11:00~12:25 若手ネットワーク企画

「現場を紡ぐ 若手ネットワークの挑戦」

11:00 若手 NW の紹介・現地視察の報告

11:15 登壇者によるプレゼン & 投票企画「現場人材が求める交流の場」

若手ネットワークではこれまで熊本・広島・東北の3大学に赴きました。研究基盤に関わる職員(技術・事務・URA)と意見交換を行い、現場の声から様々な課題を拾うことができました。その中でもコミュニケーション・相互理解の不足は多くの課題の根本にあり、研究支援体制構築における多職種間の協働を妨げていると考えています。各大学の様々な課題解決のきっかけとなりうる交流の場づくり等において、今後若手ネットワークがどのような役割を担うことができるかを議論します。

主 催：一般社団法人研究基盤協議会 (CORE)

お問い合わせ：一般社団法人研究基盤協議会 (CORE) 共創の場委員会
mail co-creation@jcore2023.jp

申込み：下の URL または右の QR コードより事前にお申込みください (締切 1/16)
https://www.jcore2023.jp/activities/expo/expo2025/



「共創の場」シンポジウム プログラム

総合司会：門田 有希 岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 准教授

9:00 開会挨拶

荒砂 茜 東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター
准教授 (URA) / 研究基盤協議会 理事

第1部 技術職員コンソーシアム TAMARIBA 企画

「ヘリウム未来革命： 資源循環で築くサステナブルジャパン」

司会
木村 悟 北海道大学大学院工学研究院 技術専門職員
/ 技術職員コンソーシアム TAMARIBA 副代表

9:05 各大学活動紹介

東京大学：鷺山 玲子 物性研究所低温液化室
技術専門職員
琉球大学：宗本 久弥 総合技術部 技術専門職員
大阪大学：日高 志郎 理学研究科技術部 技術職員
岡山大学：畑中 耕治 研究・イノベーション共創機構
機器共用推進本部 本部長 (URA)

9:35 パネルディスカッション

ファシリテーター
稲角 直也 大阪大学理学研究科技術部 技術専門職員
/ 技術職員コンソーシアム TAMARIBA 副代表

パネリスト
奥村 秀一 日本電子株式会社 大阪 NM サービス
チームリーダー

活動紹介ご登壇者 4名

10:40 講評

熊谷 果奈子 文部科学省研究振興局大学研究基盤整備課
課長補佐

10:50 休憩

第2部 若手ネットワーク企画

「現場を紡ぐ 若手ネットワークの挑戦」

司会・ファシリテーター
木戸 拓実 旭化成株式会社 / 若手ネットワーク 副代表

11:00 若手ネットワークの紹介・現地視察報告

11:15 登壇者によるプレゼン & 投票企画

「現場人材が求める交流の場」

坂園 聡美 東北大学研究推進・支援機構コアファシリティ
統括センター 特任准教授 (URA)

大門 直清 広島大学 学術・社会連携室 学術・社会連携
支援部研究支援 G 主査

黒江 彩夏 熊本大学研究推進課 事務職員

中野 知佑 岡山大学総合技術部
サイテック・コーディネーター

江口 奈緒 大阪大学コアファシリティ機構 技術専門職員
/ 若手ネットワーク 代表

12:20 講評

小野 悠 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系
准教授 / 日本学術会議若手アカデミー 代表

12:25 クロージング

勢理客 勝則 琉球大学総合技術部 マネージャー
/ 技術職員コンソーシアム TAMARIBA 副代表

研究基盤協議会「共創の場」

「共創の場」は「技術職員コンソーシアム TAMARIBA」と「若手ネットワーク」の自主的な運営をサポートし、各組織において調査・議論された重要課題については理事会及び各種委員会に還元し、政策立案の現場及びステークホルダーへの発信を行います。

技術職員コンソーシアム TAMARIBA

全国の大学技術職員が集い研究基盤の
戦略的活用と共用促進に貢献する



若手ネットワーク

研究基盤に関わる様々なステークホルダー
と繋がり、議論を通して相互理解・
高め合える ONE TEAM の構築を目指す

